

2004 夏のアルバム

1.

「西長門 角島の浜木綿」 2004.7.4.



7.4. 久しぶりに西長門リゾート 角島大橋と角島の海を見に出かけました。

真っ青な透き通った海流が 白砂の浜と角島の間架けられた角島大橋の下を潜りぬけ、いつ来ても 裏切らないその景観に満足。

また、日本海の波が打ち寄せる角島の浜には浜木綿が咲き乱れ、素晴らしい風景。

群落に咲き乱れる浜木綿を実際に見るのは始めて。 思いがけずで 本当に goo でした。

前にも書いたのですが、山口の中で一番好きな場所。

青海島の長門市から西へ日本海沿いに 20 分ほど長門と下関のほぼ中間「特牛」海岸に浮かぶ小さな島が角島です。

「特牛」日本で一番難解地名「コトイ」と読みます。

角島と本州長門側との間の狭い海峡を真っ青な海流が流れる場所 周りにケバケバシ看板や店もなく、一日静かに海を眺めて飽きない場所

日本海に沈む夕日が素晴らしい場所でもあります。

海流の流れるこの静かな景色と夕日をウリにして 西長門リゾートホテルが浜にあるのですが、周りの景観と良くマッチしてここでゆっくり海を眺めながらお茶するのが好きでした。作者忘れましたが、旅行スリラー「西長門殺人事件」で描かれた舞台で、山口に赴任した時 文庫本読んで飛んでいった所です。



角島大橋ができるまでは、「特牛」港から小さな連絡船でこの海流の中を突き切って角島へ行く。穏やかな流れがその真っ只中にはいるとこんなに激しいのかと実感しながら、島へわたるのも魅力でした。

青海島の断崖絶壁の海岸風景と打って変わって 白砂の浜と青い海のまったく観光化していない静かな場所



角島大橋の袂から 角島方面 海流を眺める 2004.7.4.

4,5 年前に角島大橋が開通して、直接長門側がつながり、観光開発が行われていたので、どんなに変わったのか 心配でもありました。

角島大橋の袂に展望所と小さな売店が出来、橋と海流が見渡せるようになっていました。

また、角島の中には角島灯台まで広い観光道路がついて、いくつか観光施設が出来ているもののやっぱり 都会から遠く離れている事もあって静けさが保たれていました。

灯台下の日本海に面した北の海岸には 浜木綿の群落がかが白い花をつけて素晴らしい景色。

何度もこの海岸には来ましたが、浜木綿の群落に咲く花を見るのは初めて 清楚な花が浜と良くマッチして 意外 掘り出し物でした

【日本北限に咲く浜木綿 西長門 角島】 2004.7.4.



以前は浜に難破船が放置され、その横に不審船注意の看板があって、その周りに浜木綿の群落が放置されるまま野生のままでしたが・・・

今は良く整備された公園になつて・・・・・・こんな綺麗に花が咲く時期があったなど思いもよらぬことでした。

浜木綿というと 白浜など暖かい南紀や伊豆の海岸が思い浮かび、山口角島の浜木綿など思っても見ませんでした。ここは浜木綿群落の北限の地という。大事にしてほしいものです。

これからは 海水浴が一番賑わう時。

浜も賑わうでしょうが、今の状態でいつでも好き勝手に見られることを願っています。



2004.7.25. by M. Nakanishi